

注意報

注意報

注意報

注意報

注意報

6361-1091

平成21年6月24日

各関係機関の長
各病害虫防除員

殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成21年度病害虫発生予察注意報第1号について

平成21年度病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

平成21年度病害虫発生予察注意報第1号

平成21年6月24日

宮崎県

病害虫名 斑点米カメムシ類

作物名 早期水稻

1. 発生地域 : 早期水稻栽培地帯
2. 発生時期 : 出穂期以降
3. 発生程度 : やや多

4. 注意報の根拠

- (1)6月の水田周辺のイタリアンライグラスほ場におけるすくい取り調査では、斑点米カメムシ類4種の発生が、県全体平均17.2頭(平成19年12.1頭、前年5.2頭)で、平成19年比やや多であった(4種:ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類)。また、地域別では、西都市、東諸県郡、宮崎郡において密度が高かった(表1、図1)。
- (2)種別では、クモヘリカメムシの生息密度が最も高く、次いで、ミナミアオカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類の順であった。
- (3)今後の天候は、気温は平成19年並または高い確率とともに40%と見込まれている(鹿児島地方気象台1ヶ月予報6月19日発表)ことから、カメムシ類の活動に好適であり注意が必要である。

5. 防除対策

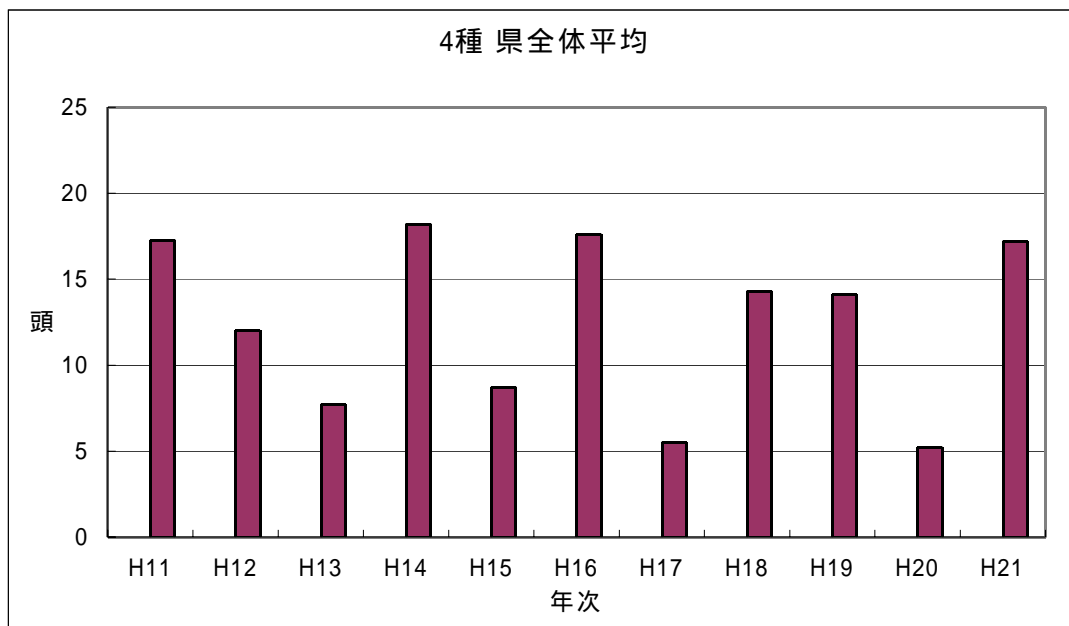
- (1)地域内で出穂の早い水田には集中的に飛来する恐れがあるので注意する。
- (2)防除時期は穂揃期とその7~10日後の2回防除が基本であり、高密度の場合はさらに追加防除が必要である。防除薬剤は穂いもちとの同時防除剤の使用が効率的である。
- (3)本虫による被害は品質を著しく低下させ、等級格下げの重要な要因になる(H20年産格下げ要因としては、本虫が75.4%と最も高い)ので、広域の集団一斉防除に努め防除効率を高める。
- (4)薬剤等その他の詳細については関係機関に照会すること。
なお、ポジティブリスト制度の施行に伴い、農薬の使用については今まで以上に厳重な注意を払うことが必要である(ラベル表示を確認すること)。また、周辺作物の栽培状況等に留意し、地域全体で農薬のドリフト防止に努める。

表1 イタリアンライグラスにおける斑点米カメムシ類の生息密度(1地点当り平均頭数)

地域名	地点数	ミナミアオ カメムシ	クモヘリ カメムシ	ホソハリ カメムシ	シラホシ カメムシ類	4種合計 + + +	4種平年値
宮崎市	22	2.4	0.7	1.2	0.9	5.2	6.6
宮崎郡	7	0.4	19.0	0.4	0.4	20.2	6.3
東諸県郡	11	15.5	4.6	1.6	0.7	22.4	14.5
南那珂	24	0.4	17.0	3.5	0.4	21.3	22.6
西都市	8	1.9	71.3	0.0	0.5	73.7	11.6
児湯郡	21	0.4	2.4	0.6	1.5	4.9	7.4
東臼杵	9	0.4	3.1	0.8	0.2	4.5	20.4
県全体	102	2.6	12.3	1.5	0.8	17.2	12.1

20回振り/1地点

図1 イタリアンライグラスにおける斑点米カメムシ類の年次別発生状況



4種：ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類

連絡先
 宮崎県病害虫防除・肥料検査センター（加治佐）
 TEL：0985-73-6670
 Fax：0985-73-7499
 E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp